

非常持ち出し品・備蓄品



「非常持ち出し品」と「備蓄品」を区別して準備しよう！

東日本大震災では、2週間経っても救援物資が足りない状況でした。この教訓から、長期保存できる食料品の買い置きを増やし、使った分は補充するなどの日常的な取り組みが大切になります。

チェックしてみよう。

非常持ち出し品

- 懐中電灯
- ティッシュ
- タオル
- 除菌シート
- マスク
- 充電器
- 現金
- 止血するもの
- ライター
- ナイフ
- 下着
- 軍手
- ラジオ
- 食品
- ヘルメット
- 電池
- 保険証のコピー
- メガネ
- コンタクト
- 生理用品
- カイロ
- 薬
- アルミシート

乳幼児

- 離乳食
- 粉ミルク
- 加熱調理器具
- 消毒用品
- 紙おむつ
- ウェットティッシュ

高齢者

- 主治医連絡先
- 持病メモ
- 持病薬
- リード
- ケージ
- 排泄用品
- ペット用食品

ペット

- 主治医連絡先
- 持病メモ
- 持病薬

備蓄品

- 水（1人一日3ℓ）
- カセットコンロ
- カセットガス
- 缶切り
- 毛布
- ろうそく
- 食料（缶詰・レトルト食品・お菓子）
- 簡易トイレ
- 歯磨きシート
- ウェットタオル
- 抗菌・消臭剤
- 救急セット
- 掃除用具

7日分は準備
しましょう！

非常持ち出し品の重さの目安

男性：15 kg 女性：10 kg



参考文献：『防災・減災備し（そなえる）ガイド～家庭編～』 平成25年1月発行 愛知県、名古屋大学



問3

正解は × でした！

「非常持ち出し品」と「備蓄品」を区別して準備しましょう！避難する時に持ち出す必要最小限の「非常持ち出し品」と、自宅で生活するための「備蓄品」を分けて備えることで、実際に地震が発生した際に慌てることなくスムーズに避難できます。